

Milestone Backup Tools

操作マニュアル

Ver.1.1.0.0 2022/4/29

株式会社 マイルストーン

目 次

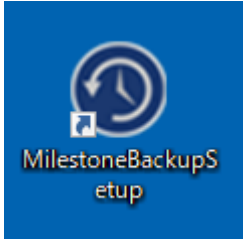
1. バックアップ設定画面	2
1-1. 起動方法	2
1-2. バックアップ設定	3
1-3. エラーメール設定	4
2. バックアップ実行設定	6
2-1. タスクスケジューラの起動	6

1. バックアップ設定画面

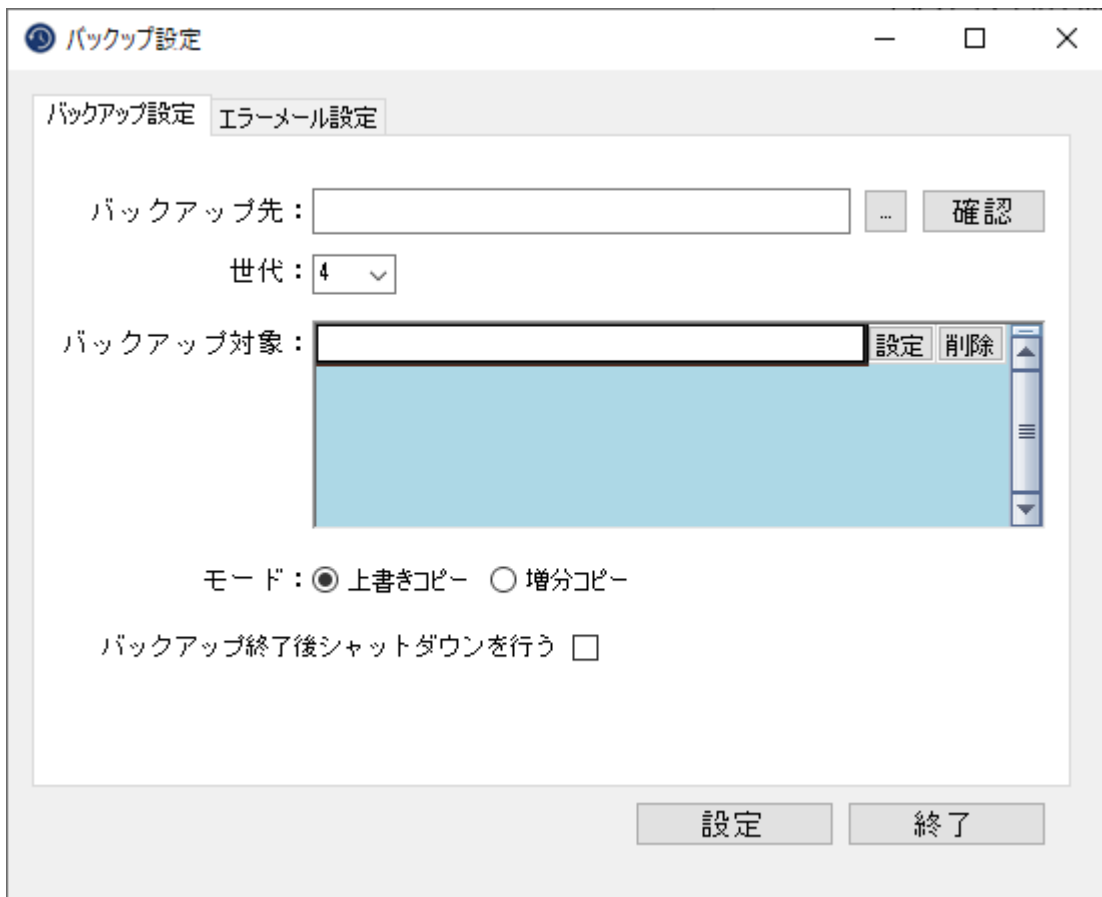
・バックアップ環境の設定は、バックアップ設定画面から行います。

1-1. 起動方法

デスクトップ上の MilestoneBackupSetup のショートカットをダブルクリックしてください。
バックアップ設定画面 が起動します。



バックアップ設定画面



1-2. バックアップ設定

バックアップ設定画面

画面項目	入力可能 文字数	説明
バックアップ先	32	バックアップ先のフォルダを指定します。
世代	-	バックアップの保存数を指定します。 最大 100 世代まで指定可能です。
バックアップ対象	32	バックアップ対象のフォルダを指定します。 複数フォルダを指定できます。
設定ボタン	-	バックアップ対象フォルダを選択するフォルダ選択ダイアログを表示します。ダイアログで指定したフォルダがバックアップ対象となります。
削除ボタン	-	バックアップ対象フォルダをバックアップ対象から除外します。
モード	-	バックアップ方法の種類を選択します。 上書きコピー、増分コピーのどちらかを選択できます。
バックアップ終了後シャットダウンを行うチェック	-	バックアップ終了後にシャットダウンを行うか選択ができます。 チェックが入っている場合にバックアップ終了後、シャットダウンを行います。
設定ボタン	-	入力内容を保存します。
終了ボタン	-	バックアップ設定画面を終了します。

1-3. エラーメール設定

バックアップ設定 エラーメール設定

エラー発生時にメール送信を行う

送信先アドレス: xxxxxxx@mile-stone.co.jp

SMTPサーバ: smtp.xxxxxxx.cp.jp

ポート: 587

ユーザID: aaaaaaaaa

パスワード: xxxxxxxx

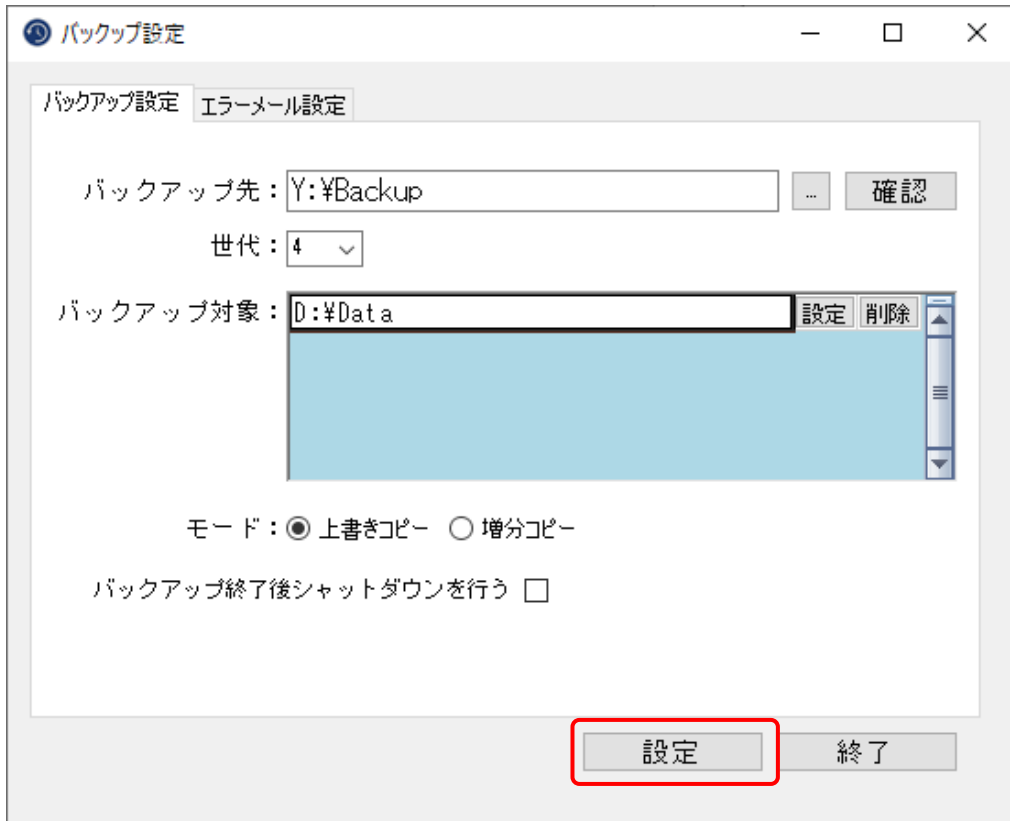
確認

設定 終了

エラーメール設定

画面項目	入力可能 文字数	説明
エラー発生時にメール送信を行う	-	バックアップ中にエラーが発生した場合にエラーメールの送信有無を設定できます。 チェックされている場合にエラーメールが送信されます。
送信先アドレス	-	エラーメールの送信先メールアドレスを設定します。
SMTPサーバ	-	エラーメール送信先のSMTPサーバを設定します。
ポート	-	エラーメール送信先のSMTPサーバのポートを設定します。
ユーザID	-	エラーメール送信先メールのユーザIDを設定します。
パスワード	-	エラーメール送信先メールのパスワードを設定します。
確認ボタン	-	設定したメール情報に基づき、確認メールを送信します。 エラーメール送信先に確認メールが送信されない場合は、設定内容やネットワーク環境を見直してください。
設定ボタン	-	入力内容を保存します。
終了ボタン	-	バックアップ設定画面を終了します。

入力が完了したら、設定ボタン をクリックしてください。



2. バックアップ実行設定

・バックアップの実行は Windows タスクスケジューラを使用します。

2-1. タスクスケジューラの起動

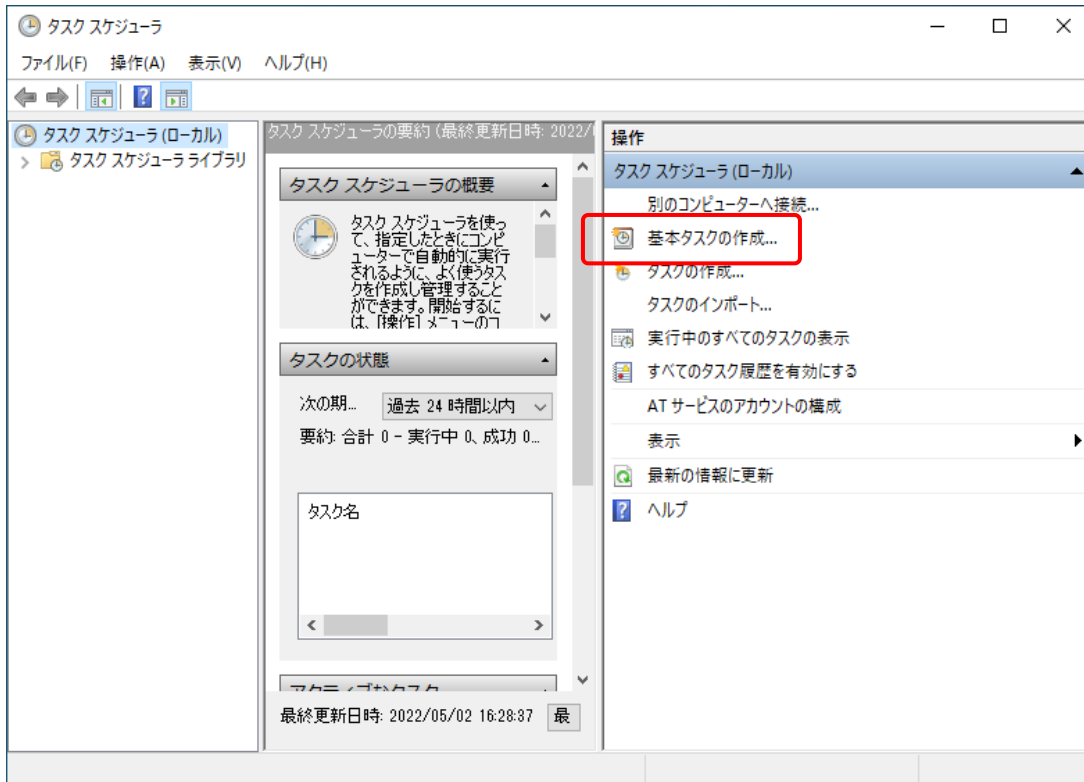
画面目下し下のスタートボタンより「Windows 管理ツール」→「タスク スケジューラ」をクリックします。



タスクスケジューラが立ち上がります。



「基本タスクの作成」をクリックします。

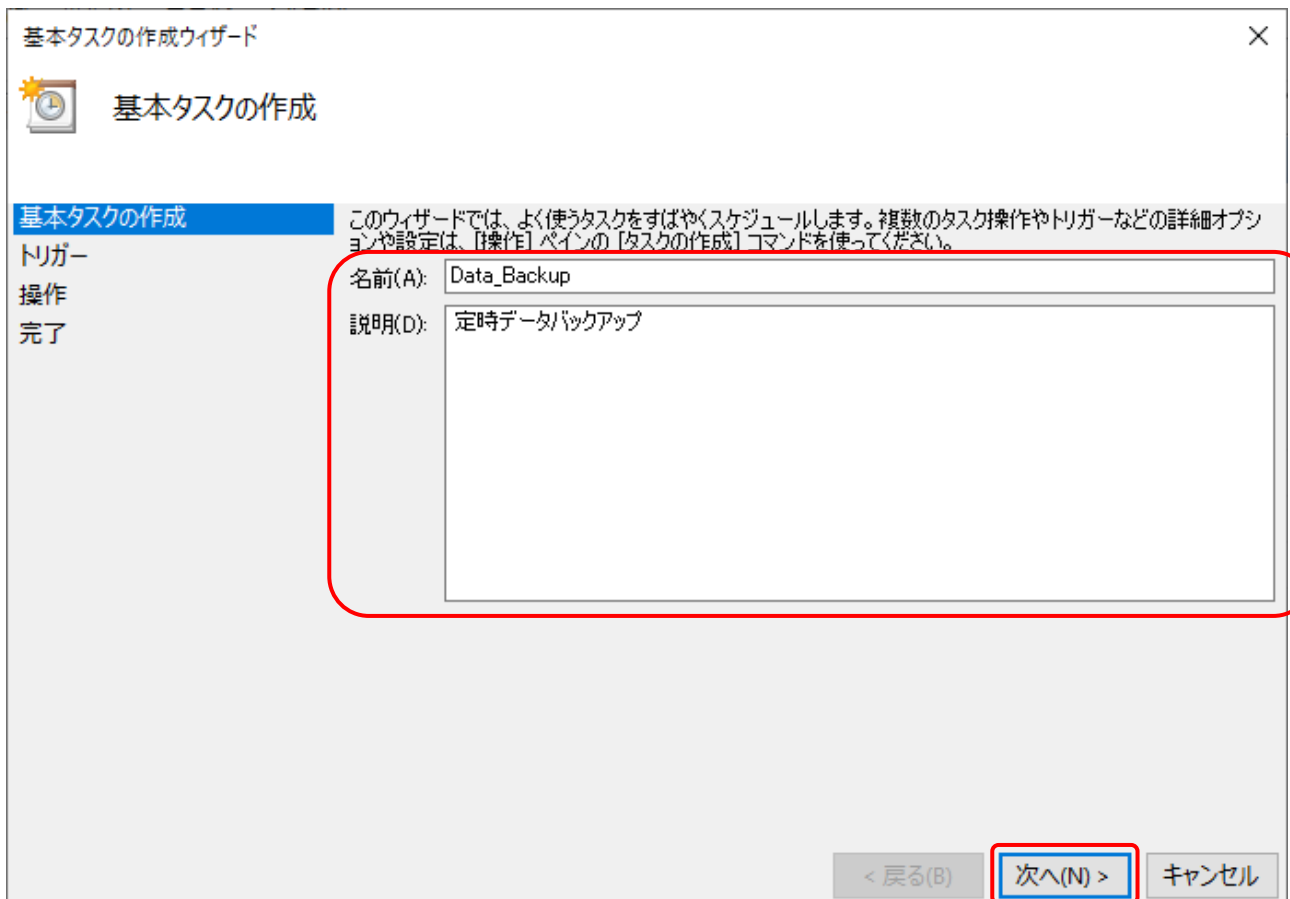


基本タスクの作成ウィザードが開きます。

「名前」にタスクを識別できる任意の名前を入力します。

「説明」にタスクの説明を入力します。任意入力ですので、未入力でもかまいません。

次へボタン を押します。



タスクの開始条件を設定（例では“毎週”を選択）し、次へボタンを押します。

基本タスクの作成ウィザード
×

タスクトリガー

基本タスクの作成	いつタスクを開始しますか?
トリガー	<input type="radio"/> 毎日(D)
毎週	<input checked="" type="radio"/> 毎週(W)
操作	<input type="radio"/> 毎月(M)
完了	<input type="radio"/> 1回限り(O)
	<input type="radio"/> コンピューターの起動時(H)
	<input type="radio"/> ログオン時(L)
	<input type="radio"/> 特定イベントのログへの記録時(E)

< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

開始条件の詳細を設定します。（上記開始条件により下記画面は異なります。）

次へボタンを押します。

基本タスクの作成ウィザード
×

毎週

基本タスクの作成	開始(S):	<input type="text" value="2022/05/02"/>	<input type="text" value="1:00:00"/>	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期(Z)
トリガー	間隔(C):	<input type="text" value="1"/>	週間ごとの次の曜日:	
毎週	<input type="checkbox"/> 日曜日(U)	<input checked="" type="checkbox"/> 月曜日(A)	<input checked="" type="checkbox"/> 火曜日(T)	<input checked="" type="checkbox"/> 水曜日(Y)
操作	<input checked="" type="checkbox"/> 木曜日(H)	<input checked="" type="checkbox"/> 金曜日(F)	<input type="checkbox"/> 土曜日(R)	
完了				

< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

操作の設定画面で プログラムの開始 を選択し、次へボタンを押します。

基本タスクの作成ウィザード

操作

基本タスクの作成

トリガー 毎週

タスクでどの操作を実行しますか?

プログラムの開始(I)

電子メールの送信 (非推奨)(S)

メッセージの表示 (非推奨)(M)

操作

完了

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

プログラムの開始画面が表示されます。

参照ボタンを押します。

基本タスクの作成ウィザード

プログラムの開始

基本タスクの作成

トリガー 毎週

プログラム/スクリプト(P):

参照(R)...

操作

プログラムの開始

引数の追加 (オプション)(A):

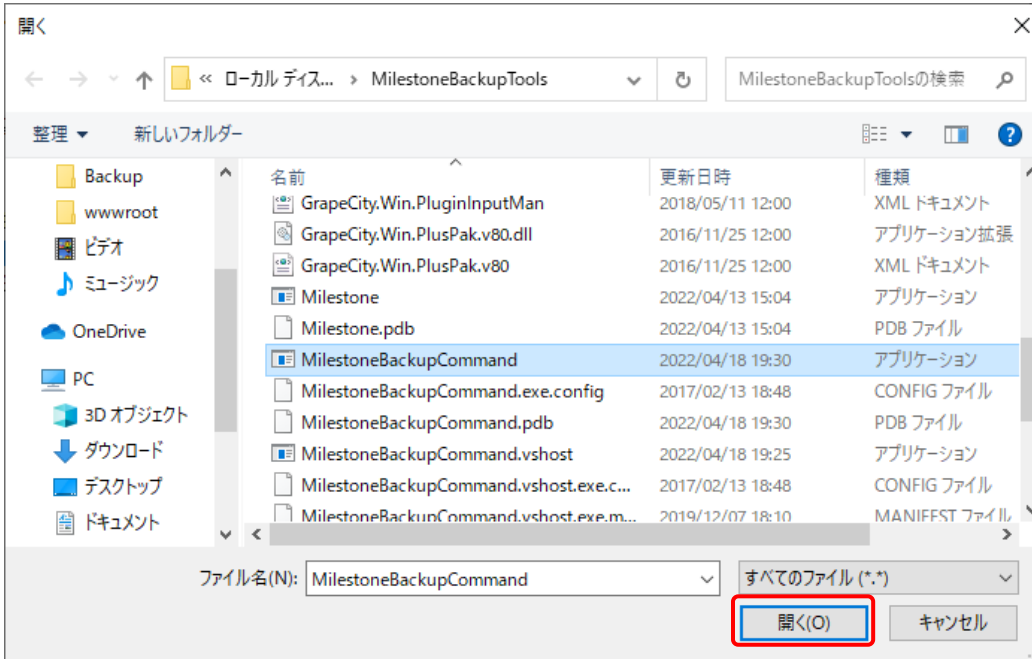
開始 (オプション)(T):

完了

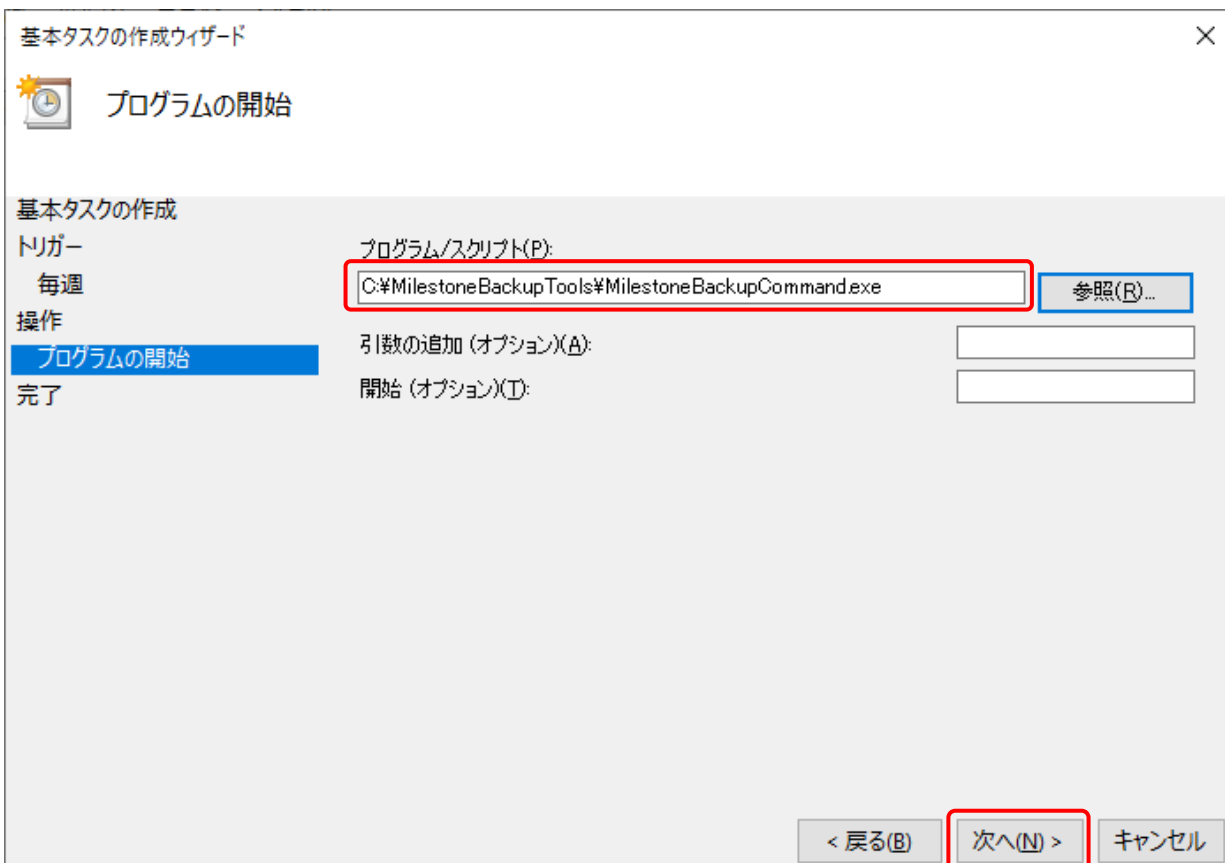
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

Milestone Backup Tools - 操作マニュアル

ファイル選択ダイアログが表示されるので C:¥MilestoneBackupTools¥MilestoneBackupCommand を選択し、開くボタンを押します。



プログラム/スクリプト に C:¥MilestoneBackupTools¥MilestoneBackupCommand.exe と表示されていることを確認し、次へボタンを押します。



[完了]をクリックしたときに、このタスクの[プロパティ]ダイアログを開く にチェックを入れ、完了ボタンを押します。

基本タスクの作成ウィザード

要約

基本タスクの作成

トリガー
毎週

操作
プログラムの開始

完了

名前: Data_Backup

説明: 定时データバックアップ

トリガー: 毎週: 2022/05/02 以降毎週月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日, 1:00 に起動

操作: プログラムの開始: C:\MilestoneBackupTools\MilestoneBackupCommand.exe

[完了] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く
[完了] をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されます。

< 戻る(B) **完了(F)** キャンセル

プロパティダイアログが開きます。

プロパティダイアログでユーザがログオンしているかどうかにかかわらず実行する を選択します。

最上位の特権で実行する にチェックを入れます。

OK ボタンを押します。

Data_Backup のプロパティ (ローカル コンピューター)

全般 トリガー 操作 条件 設定 履歴 (無効)

名前(M): Data_Backup

場所: ¥

作成者: INSTALLER-TEST#hirooka

説明(D): 定时データバックアップ

セキュリティ オプション

タスクの実行時に使うユーザー アカウント:
hirooka ユーザーまたはグループの変更(U)...

ユーザーがログオンしているときのみ実行する(R)

ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)

パスワードを保存しない(P) (タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ)

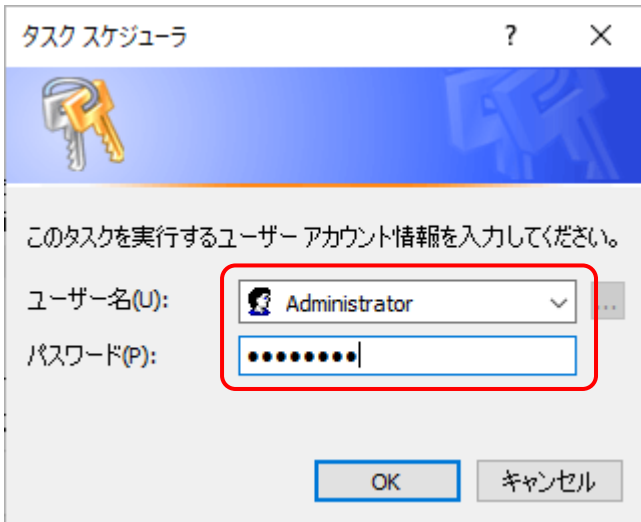
最上位の特権で実行する(O)

表示しない(E) 構成(C): Windows Vista™, Windows Server™ 2008

OK キャンセル

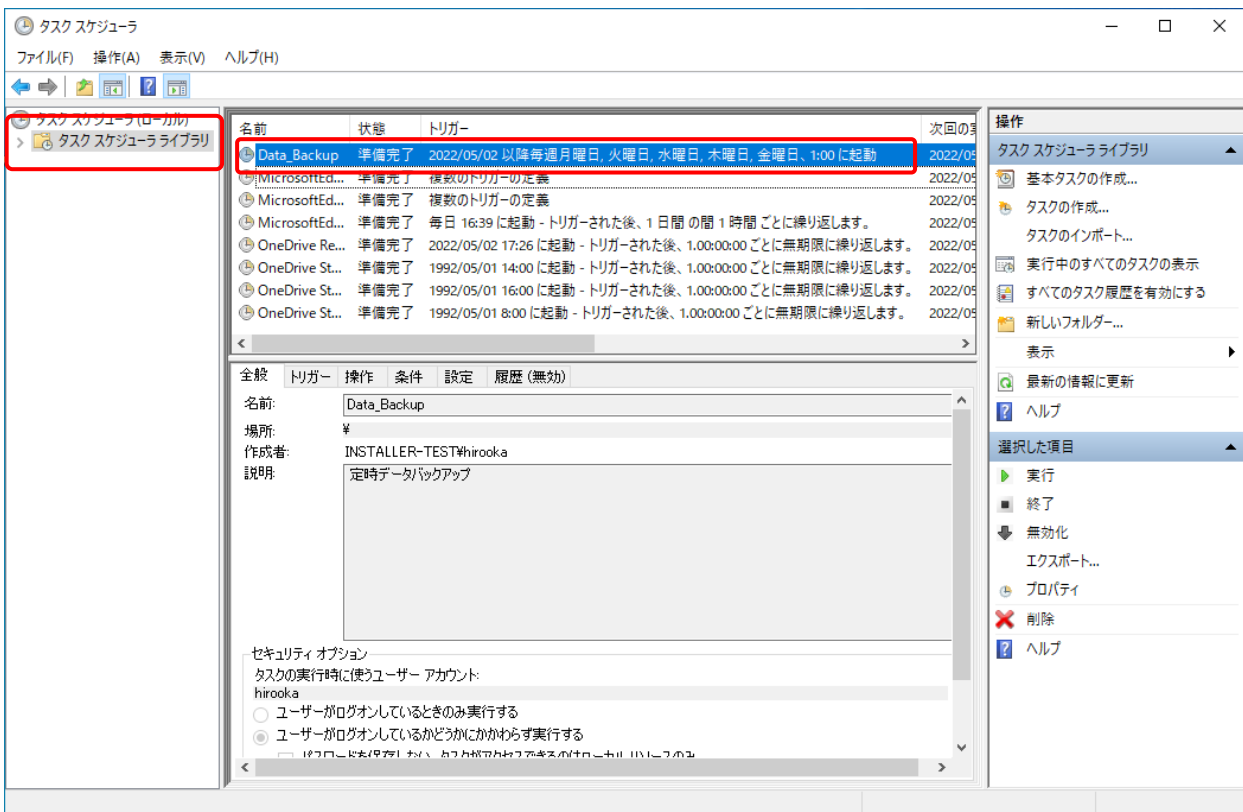
タスクを実行するユーザとパスワードの画面が表示されます。

管理者権限のあるユーザとそのパスワードを入力して、OK ボタンを押します。



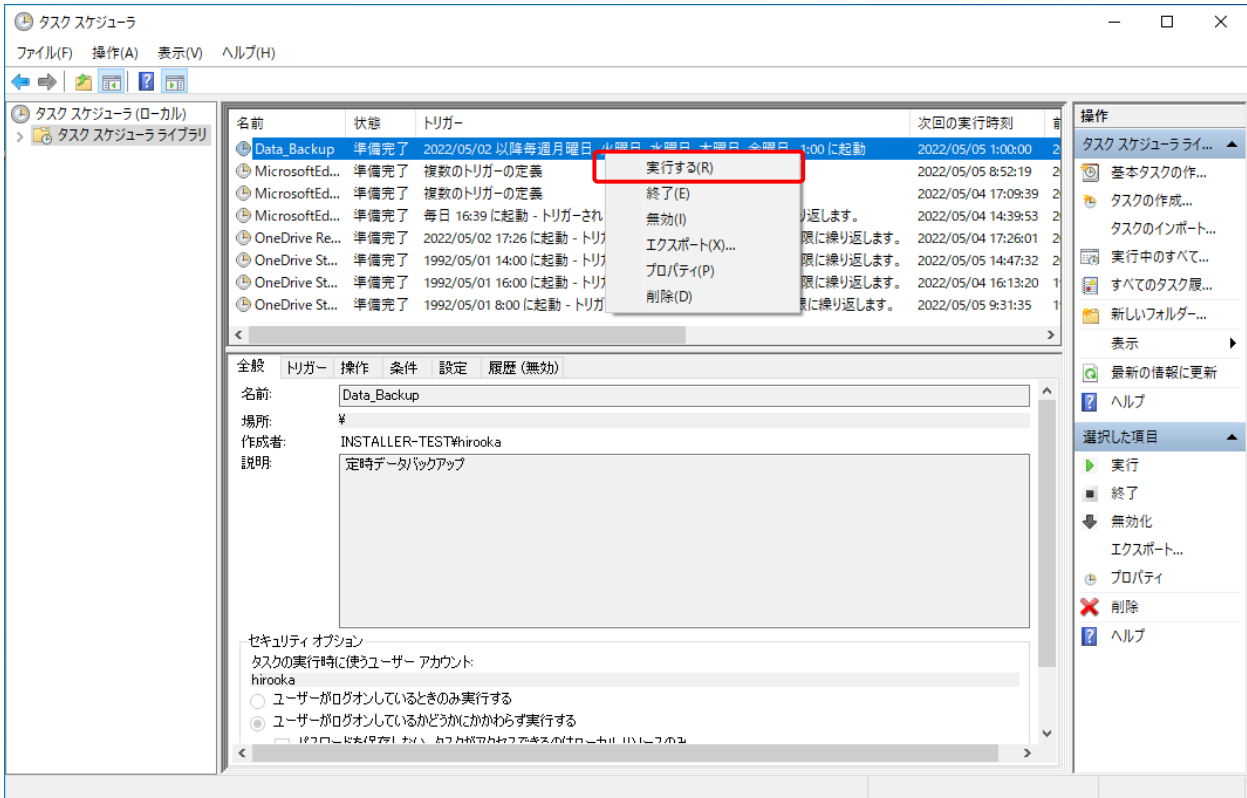
※管理者権限のないユーザの入力や、管理者権限のパスワードが間違っているとバックアップ実行時にエラーが発生し、バックアップが行われません。
間違いが無いように入力してください。

タスクスケジューラの左側の窓で **タスク スケジュール ライブラリ** をクリックし、作成したタスクを確認してください。



作成されたタスクを右クリックし、実行する をクリックします。

問題なく実行されることを確認してください。



※実行でエラーが発生する場合は、設定画面でバックアップフォルダの設定等を見直してください。

また、タスクの実行ユーザに管理者権限のユーザが実行されていること、管理者権限ユーザのパスワードが間違っていないこと等を確認してください。